

科目番号	0401	科目名	数学Ⅰ			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3	必修・選択		9回	3回	1回	年間2回
教科書		改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学Ⅰ				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学 I ベーシック講座を見ながら、スタサプノート (MetaMoji) を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずですよ。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

(2) 大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式解法と演習数学 I + A」(数研出版・通称黄色チャート) または「チャート式基礎からの数学 I + A」(数研出版・通称青チャート) などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ーシック数学Ⅰ)
第1回	第1章 数と式 第1節 式の計算	多項式、展開 因数分解、	4月16日	第1講 PART1~4 第2講 PART1~4
第2回	第1章 数と式 第2節 実数 第3節 1次不等式	実数、絶対値、有理数、 無理数、平方根の計算 1次不等式 絶対値を含む方程式・不 等式	4月30日	第3講 PART1~3 第4講 PART1~3
第3回	第2章 集合と命題	集合、要素、部分集合、 和集合、共通部分、補集 合、ド・モルガンの法 則、命題、必要条件、十 分条件、背理法	5月21日	第5講 PART1~4 第6講 PART1~2
第4回	第3章 2次関数 第1節 2次関数と グラフ	2次関数のグラフのかき 方、平方完成	6月25日	第7講 PART1~6
第5回	第3章 2次関数 第2節 2次関数の 値の変化	最大値、最小値 2次関数の決定	7月9日	第8講 PART1~3
前期期末考査				
第6回	第3章 2次関数 第3節 2次方程式 と2次不等式	2次方程式の解法 2次不等式の解法	10月8日	第9講 PART1~4 第10講 PART1~4
第7回	第4章 図形と計量 第1節 三角比	$\sin$ 、 $\cos$ 、 $\tan$ の定義 三角比の諸公式	10月29日	第11講 PART1~5 第12講 PART1~4
第8回	第4章 図形と計量 第2節 三角形へ の応用	正弦定理、余弦定理 三角形の面積	11月19日	第13講 PART1~4 第14講 PART1~4
第9回	第5章 データの分 析	データの代表値 四分位数、分散 標準偏差、相関関係 相関係数、仮説検定	12月17日	第15講 PART1~6
単位認定考査				

科目番号	0404	科目名	数学 A			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2	必修修	選択	6 回	2 回	1 回	年間 2 回
教科書		改訂版 新編 数学 A（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学 A				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ 場合の数と確率、図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学 A ベーシック講座を見ながら、スタサプノート (MetaMoji) を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずです。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

(2) 大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式解法と演習数学 I + A」(数研出版・通称黄色チャート) または「チャート式基礎からの数学 I + A」(数研出版・通称青チャート) などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ーシク数学 A)
第 1 回	準備 集合 第 1 章 場合の数と 確率 第 1 節 場合の数	集合 集合の要素の個数 場合の数、順列	5 月 7 日	数 I 第 5 講 PART1, 2 数 A 第 1 講 PART1~4 第 2 講 PART1~4
第 2 回	第 1 章 場合の数と 確率 第 1 節 場合の数 第 2 節 確率	組合せ 事象と確率 確率の基本性質	6 月 11 日	第 3 講 PART1~4 第 4 講 PART1~4
第 3 回	第 1 章 場合の数と 確率 第 2 節 確率	独立な試行と確率 条件付き確率 期待値	7 月 16 日	第 5 講 PART1~2 第 6 講 PART1~2
前期考査				
第 4 回	第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形	三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの 定理	10 月 22 日	第 7 講 PART1~6
第 5 回	第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形	円に内接する四角形 円と直線 2 つの円	11 月 26 日	第 8 講 PART1~4
第 6 回	第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形 第 2 節 空間図形	作図 直線と平面 空間図形と多面体	1 月 21 日	第 8 講 PART5 第 9 講 PART1~2
単位認定考査				

科目番号	0402	科目名	数学Ⅱ			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
4	必修・選択		12回	4回	2回	年間2回
教科書		新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学Ⅱ				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

（１）単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学Ⅱベーシック講座を見ながら、スタサプノート（MetaMoji）を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずです。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

（２）大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B+C（ベクトル）」（数研出版・通称黄色チャート）または「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C（ベクトル）」（数研出版・通称青チャート）などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ーシク数学Ⅱ)
第 1 回	第 1 章 式と証明 第 1 節式と計算	3 次式の展開・因数分解 2 項定理 多項式の割り算	4 月 17 日	第 1 講 PART1~4
第 2 回	第 1 章 式と証明 第 2 節等式・不等式 の証明 第 2 章複素数と方程式 第 1 節複素数と 2 次 方程式の解 (1 のみ)	恒等式、等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均の関 係 複素数	5 月 15 日	第 2 講 PART1~5 第 3 講 PART1
第 3 回	第 2 章複素数と方程式 第 1 節複素数と 2 次 方程式の解 (2 ~) 第 2 節高次方程式	虚数解 解と係数の関係 剰余の定理 因数定理 組立除法 高次方程式を解く	5 月 22 日 (1 限)	第 3 講 PART2~4 第 4 講 PART1~3
第 4 回	第 3 章図形と方程式 第 1 節点と直線	内分点・外分点の座標 直線の方程式 2 直線の平行・垂直 点と直線の距離	6 月 12 日	第 5 講 PART1~5
第 5 回	第 3 章図形と方程式 第 2 節円 第 3 節軌跡と領域	円の方程式 円と直線の位置関係 円の接線の方程式 軌跡 領域 領域と最大・最小	6 月 19 日	第 6 講 PART1~4 第 7 講 PART1~4
第 6 回	第 4 章三角関数 第 1 節三角関数 (1 ~ 4)	一般角 弧度法 三角関数の相互関係 三角関数のグラフ	7 月 17 日	第 8 講 PART1~5 第 9 講 PART1~2
前期考查				
第 7 回	第 4 章三角関数 第 1 節三角関数 (5 のみ) 第 2 節加法定理	三角関数の方程式・不等 式 加法定理 2 倍角・半角の公式 三角関数の合成	9 月 18 日	第 10 講 PART1~2 第 11 講 PART1~4
第 8 回	第 5 章指数関数と対数 関数 第 1 節指数関数	指数法則 累乗根 指数関数とグラフ 指数関数を含む方程式・ 不等式	10 月 30 日	第 12 講 PART1~3 第 13 講 PART1~3
第 9 回	第 5 章指数関数と対数 関数 第 2 節対数関数	対数の定義と性質 対数関数とグラフ 対数関数を含む方程式・ 不等式	11 月 6 日 (1 限)	第 14 講 PART1~3 第 15 講 PART1~4

第 10 回	第 6 章微分法と積分法 第 1 節微分係数と導関数	極限值 微分係数 導関数 関数を微分する 接線の方程式	11 月 27 日	第 16 講 PART1~4 第 17 講 PART1~2
第 11 回	第 6 章微分法と積分法 第 2 節関数の値の変化	関数の増減 極大・極小 増減表 3 次関数のグラフ 関数の最大・最小 方程式・不等式への応用	1 月 15 日	第 17 講 PART3~6
第 12 回	第 6 章微分法と積分法 第 3 節積分法	不定積分 定積分 2 つのグラフで囲まれた 図形の面積	1 月 22 日	第 18 講 PART1~4 第 19 講 PART1~2
単位認定考查				

科目番号	0405	科目名	数学 B			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2	必修・選択		6 回	2 回	1 回	年間 2 回
教科書		新編 数学 B（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学 B				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ 数列，統計的な推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学B ベーシック講座を見ながら、スタサプノート (MetaMoji) を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずです。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

(2) 大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C」(数研出版・通称青チャート) または「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B+C」(数研出版・通称黄色チャート) などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ベーシック数学B)
第1回	第1章 数列 第1節 等差数列 と等比数列	数列 一般項 等差数列 等比数列	4月24日	第1講 PART1~4 第2講 PART1~3
第2回	第1章 数列 第2節 いろいろ な数列	数列の和 Σ 階差数列	5月22日	第3講 PART1~4 第4講 PART1~2
第3回	第1章 数列 第2節 漸化式と 数学的帰納法	漸化式 数学的帰納法	7月3日	第5講 PART1~9
前期期末考査				
第4回	第2章 統計的な推 測 第1節 確率分布	確率分布 期待値、分散、標準偏差	10月9日	第6講 PART1~4 第7講 PART1~2
第5回	第2章 統計的な推 測 第1節 確率分布 第2節 統計的な 推測	二項分布 正規分布 母集団、標本平均 標本平均の分布	11月6日	第8講 PART1~2 第9講 PART1~4 第10講 PART1~2
第6回	第2章 統計的な推 測 第2節 統計的な 推測	推定 仮説検定 信頼区間	12月11日	第10講 PART3~4
学年末考査				

科目番号	0403	科目名	数学Ⅲ			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3	必修	選択	9回	3回	1回	年間2回
教科書		新編 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学Ⅲ				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ 極限・微分法及び積分法について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

（１）単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学Ⅲベーシック講座を見ながら、スタサプノート（MetaMoji）を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずです。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

（２）大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式解法と演習数学Ⅲ＋C」（数研出版・通称黄色チャート）または「チャート式基礎からの数学Ⅲ＋C」（数研出版・通称青チャート）などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ーシックス数学Ⅲ)
第 1 回	第 1 章 関数 第 2 章 極限 第 1 節 数列の極限	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数 数列の極限	4 月 15 日	第 1 講 PART1～4 第 2 講 PART1～4
第 2 回	第 2 章 極限 第 1 節 数列の極限 第 2 節 関数の極限	無限等比数列 無限級数 関数の極限 三角関数と極限	5 月 27 日	第 3 講 PART1～2 第 4 講 PART1～3 第 5 講 PART1～4 第 6 講 PART1～2
第 3 回	第 2 章 極限 第 2 節 関数の極限 第 3 章 微分法 第 1 節 導関数	関数の連続 微分係数と導関数 導関数の計算	6 月 3 日	第 6 講 PART3～4 第 7 講 PART1～4 第 8 講 PART1～2
第 4 回	第 3 章 微分法 第 2 節 いろいろな関 数の導関数	いろいろな関数の導関 数 第 n 次導関数 曲線の方程式と導関数	7 月 1 日	第 9 講 PART1～4
第 5 回	第 4 章 微分法の応用 第 1 節 導関数の応用	接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ	8 月 26 日	第 10 講 PART1～3 第 11 講 PART1～4 第 12 講 PART1～4
前期考査				
第 6 回	第 4 章 微分法の応用 第 2 節 いろいろな応 用	方程式、不等式への応 用 速度と加速度 近似式	10 月 14 日	第 13 講 PART1～2 第 14 講 PART1～3
第 7 回	第 5 章 積分法とその応 用 第 1 節 不定積分	不定積分 置換積分法 部分積分法 いろいろな関数の不定 積分	10 月 28 日	第 15 講 PART1～5 第 16 講 PART1～4
第 8 回	第 5 章 積分法とその応 用 第 2 節 定積分	定積分 置換積分法 部分積分法 定積分のいろいろな問 題	11 月 25 日	第 17 講 PART1～5 第 18 講 PART1～2 第 19 講 PART1～2
第 9 回	第 5 章 積分法とその応 用 第 3 節 積分法の応用	面積 体積 道のり 曲線の長さ	12 月 16 日	第 20 講 PART1～4 第 21 講 PART1～4
単位認定考査				

科目番号	0406	科目名	数学 C			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2	必修修・選択		6 回	2 回	1 回	年間 2 回
教科書		新編 数学 C（数研出版）				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ ベーシックレベル数学 C＜ベクトル編＞ スタディサプリ ベーシックレベル数学 C＜平面上の曲線／複素数平面編＞				
学習目標		・ 数学における考え方や定義・定理等を理解し、日常生活も含めてさまざまな事象を数学的に捉え、数学的に表現し、処理できるようになる。 ・ 数学を活用して、論理的に考察できるようになる。 ・ 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や、粘り強く考えていく態度を身につける。 ・ ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. スタディサプリ・数学 C ベーシック講座を見ながら、スタサプノート (MetaMoji) を進めましょう。基本事項がひととおり身につくはずです。
2. レポートに取り組みましょう。わからないところは、教科書やスタサプノートを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、教科書の例、例題を読み、「練習」を解いてみて、定着しているか確認しましょう。

(2) 大学進学に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。自分で参考書を少しずつ進めていきましょう。「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B+C」(数研出版・通称黄色チャート) または「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C」(数研出版・通称青チャート) などがお勧めです。例題の解説動画もついており、学習に役立ちます。希望する人は、学校から注文することができます。

また、スタディサプリの種々の講座も活用できます。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリー ーシックス数学C)
第1回	第1章 平面上のベ クトル 第1節 ベクトル とその演算	ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積	5月20日	<ベクトル編> 第1講 PART1~4 第2講 PART1~3 第3講 PART1~4
第2回	第1章 平面上のベ クトル 第2節 ベクトル と平面図形	位置ベクトル 図形への応用	6月3日	第4講 PART1~4
第3回	第2章 空間のベク トル	空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 図形への応用	7月15日	第5講 PART1~4 第6講 PART1~4
前期考査				
第4回	第3章 複素数平 面	複素数平面 極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	10月21日	<平面上の曲線／複 素数平面編> 第5講 PART1~3 第6講 PART1~3 第7講 PART1~2 第8講 PART1~4
第5回	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	放物線 楕円 双曲線 平行移動	11月18日	第1講 PART1~4 第2講 PART1~2 第3講 PART1~2
第6回	第4章 式と曲線 第2節 媒介変数 表示と極座標	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式	1月20日	第4講 PART1~2
単位認定考査				

科目番号	0407	科目名	数学基礎			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3	必履修・選択		9回	3回	1回	年間2回
教科書		スタディサプリテキスト「新版中1 数学」「新版中2 数学」「新版中3 数学」				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ 新版中1 数学 新版中2 数学 新版中3 数学				
学習目標		中学校の数学のうち、代数分野（数、文字式、方程式、関数など）を中心に学習します。高校「数学Ⅰ」を学習するために必要な基礎力を身に付けることが目標です。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. スタディサプリ「新版中1数学」「新版中2数学」「新版中3数学」講座を見ながら、スタディサプリテキストを進めましょう。また、確認問題を解いて、入力してください。基礎がひとつおりの理解できると思います。
2. スタディサプリ「新版ドリル中1数学」「新版ドリル中2数学」「新版ドリル中3数学」に取り組みましょう。基礎が定着すると思います。
3. レポートに取り組みましょう。わからないところは、スタディサプリテキストを参考にしながらやって構いません。しっかり考えて、すべて解いてください。
3. スクーリングに出席しましょう。自分の力ではわからなかったところがあれば、先生に質問して、正しく理解してください。また、先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。
4. 定期テストに向けて、まずレポートをもう一度見返しましょう。そして、テキストの問題、「新版ドリル」の問題を解きなおして、定着させましょう。

(2) 大学入試に向けて

学力向上を目指して、数学検定3級を受験することを勧めます。合格を目指して、問題集に取り組みましょう。

レポートの内容

レポート	テキスト	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリ)
第1回	中1 数学第2章 文字と式	文字を使った式の表し方 単位のそろえ方、割合、 文字式の計算	4月16日	中1 数学第2章 #2001～#2021
第2回	中1 数学第3章 1次方程式	1次方程式の解き方 1次方程式の応用	4月30日	中1 数学第3章 #3001～#3012
第3回	中1 数学第4章 比例・反比例	関数、比例の式 反比例の式	5月21日	中1 数学第4章 #4001～#4014
第4回	中2 数学第1章 式の計算	単項式と多項式 多項式の計算	6月25日	中2 数学第1章 #1001～#1016
第5回	中2 数学第2章 連立方程式	連立方程式の解き方 連立方程式の応用	7月9日	中2 数学第2章 #2001～#2014
前期考査				
第6回	中2 数学第3章 1次関数	1次関数の式とグラフ 1次関数の応用	10月8日	中2 数学第3章 #3001～#3016
第7回	中3 数学第1章 展開と因数分解	式の展開 因数分解	10月29日	中3 数学第1章 #1001～#1018
第8回	中3 数学第2章 平方根		11月19日	中3 数学第2章 #2001～#2017
第9回	中3 数学 第3章 2次方程式 第4章 関数 $y=ax^2$	2次方程式の解法 関数 $y=ax^2$	12月17日	中3 数学第3章 #3001～#3006 まで 中3 数学第4章 #4001～#4009 まで
単位認定考査				

※単位認定考査後、中3 数学第7章「三平方の定理」のところは、是非やっておいてください。